

# 令和8年度 施政方針



栃 木 市



## 【はじめに】

令和8年第2回市議会定例会の開会に当たり、市政推進について所信の一端を申し述べますとともに、今定例会に提出いたしました一般会計予算案の大綱について、ご説明を申し上げます。

令和7年度を振り返りますと、大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」(NHK)が放送され、ドラマに登場した本市ゆかりの浮世絵師 喜多川歌麿を通じて、全国の皆様に、本市を知っていただく貴重な機会となりました。

また、スポーツの面では、本市をホームタウンとする栃木シティフットボールクラブがJ3昇格1年目で優勝、そしてJ2への昇格が決定し、その活躍は、ファンやサポーターを魅了し、子供たちにも夢を与えるとともに、地域の活性化や本市のPRに大きく貢献いただいたと思います。

さらに、宝島社「2026年版第14回住みたい田舎ベストランキング」において、自治会や関係団体等の方々の協力のもとこれまでの取り組みが実を結び、本市は空き家バンクの令和7年度の成約数が多い自治体全国第1位となり、移住先進地として今まで以上に全国から注目を浴びるのではないかと期待しております。

本市の各事業においては、とちぎクリーンプラザの施設の延命化を図る基幹的設備改良工事の実施、雨水・浸水対策事業の推進、すくすく子育て応援事業や不妊治療費助成事業による子育て支援、中学校の体育館への空調設備の整備、栃木インター産業団地及び平川産業団地の整備など、多くの事業を実施いたしました。

特に、雨水・浸水対策事業では、2度の甚大な浸水被害を教訓として、再び同様の被害が発生することのないよう、河川の氾濫や浸水被害を防止するため、流域治水の取り組みを推進してきたことにより、県事業である巴波川の地下捷水路整備事業は令和9年度、永野川の改良復旧事業は令和8年中の完成が見込

まれ、本市の事業においても、令和2年度より進めておりました中小河川の調節池、排水施設等が、順次完成する見込みであり、市全体の流域治水に取り組めたことは、合併により市域が拡大した本市において、北から南まで水を治めるという、合併の効果が顕著に表われた事業であったと思います。

また、長引く物価上昇に対応するため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、民間保育所や中小企業者等に対する物価高騰対策支援を実施いたしました。

令和8年度は、第2次栃木市総合計画が4年目となり、目標とする本市の将来像であります「豊かな自然と共生し 優しさと強さが調和した 活力あふれる栃木市」の実現に向け、市民の皆様や各種団体、市内の企業等と連携し、計画に掲げる各施策を推進してまいります。

具体的には、まちなかの魅力と賑わいを創出するための観光・交流拠点整備事業、教育環境の整備を進めるための（仮称）栃木東地域学校給食センター整備事業、栃木文化会館を中長期に使用するための栃木文化会館施設整備事業、子育て支援の充実を図るためのすくすく子育て応援事業、消防・救急体制の強化を図るための北部分署整備事業、産業の発展と雇用の創出を進めるための栃木インター西産業団地造成事業や平川土地区画整理事業など、教育・福祉・救急といった市民生活に密着した事業をはじめ、まちづくりや産業振興に資する施策を幅広く、積極的に推進していくとともに、持続可能な自治体運営を実現していくため、行財政改革に基づく財政健全化に取り組んでまいります。

## 【予算案の概要】

以上のような考え方にに基づき編成いたしました、令和8年度一般会計及び各会計予算案の総額についてご説明いたします。

まず、一般会計につきましては、3款民生費、7款商工費、9款消防費及び10款教育費などが増額するなか、2款総務費、4款衛生費及び8款土木費などが減額し、前年度と比較して2.9%増の769億9,000万円であります。

次に、特別会計の合計は、前年度と比較して5.6%増の379億1,039万4千円であります。

以上、一般会計と特別会計を合計した予算案の総額は、1,149億39万4千円であります。

次に、企業会計の支出総額であります。水道事業会計につきましては、前年度と比較して2.0%増の48億3,405万円であり、下水道事業会計につきましては、前年度と比較して8.2%増の74億165万1千円であります。

## 【主な施策の概要】

次に、令和8年度当初予算の主な事務事業について、第2次総合計画基本構想に定める6つの基本方針に沿って概要を申し上げます。

### 《1 誰もが安全で安心して暮らせる栃木市》

第1は、「誰もが安全で安心して暮らせる栃木市」であります。

「定住促進支援事業費」につきましては、移住定住支援コーディネーターを配置し、相談体制と情報発信力を強化し移住相談会や交流会等を積極的に開催するとともに、結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラム補助金、通学者・通勤者支援補助金等を交付し、移住・定住者支援に取り組んでまいります。

次に、「観光・交流拠点整備事業費」につきましては、室町地内の旧栃木警察署跡地に「観光・交流拠点」を整備するものであり、令和8年度は、多目的広場と駐車場の整備工事、トイレと休憩施設の新築工事を実施いたします。

次に、「北部分署整備事業費」につきましては、老朽化、狭あい化した消防署都賀分署・西方分署の庁舎を統合し、新たに北部分署として整備するものであり、令和8年度は、北部分署新築工事等を実施いたします。

次に、「公共下水道雨水渠整備事業費」につきましては、大雨時に発生する浸水被害を軽減するため、片柳町4丁目地内の永野川左岸の雨水幹線、調整池及び強制排水ポンプを備えた排水樋門を整備するものであり、令和8年度は、ポンプゲート設置工事及び雨水渠幹線整備工事等を実施いたします。

### 《2 豊かな自然と共生する栃木市》

第2は、「豊かな自然と共生する栃木市」であります。

「気候変動適応事業費」につきましては、熱中症や遮熱対策等に寄与するた

め、岩舟公民館における断熱窓改修工事等、気候変動適応策に資する取り組みを実施いたします。

次に、「衛生センター施設整備事業費」につきましては、長期稼働により老朽化した栃木市衛生センターについて、今後も安全で安定した、し尿処理が行えるように、現在、佐野市へ委託している藤岡及び岩舟地域を含めた市内全域のし尿処理ができる施設の整備を行うもので、令和8年度は、生活環境影響調査業務等、施設整備に向けた準備を進めてまいります。

### 《3 一人ひとりが学び成長できる栃木市》

第3は、「一人ひとりが学び成長できる栃木市」であります。

「地域プロジェクトマネージャー活動事業費」につきましては、蔵の活用と地域課題の解決を総合的にマネジメントできる人材として地域プロジェクトマネージャーを雇用し、嘉右衛門町伝建地区及び蔵の街大通り周辺の空家、空蔵等の活用に取り組んでまいります。

次に、「学校給食事業費」につきましては、安全でおいしい学校給食の安定供給を行うもので、令和8年度から保護者の経済的負担を軽減するため、市内公立小中学校全ての学年において、給食費の無償化を実施いたします。

次に、「(仮称) 栃木東地域学校給食センター整備事業費」につきましては、狭あいでの老朽化が著しい、栃木第三小学校、大宮北小学校及び国府北小学校の3つの学校給食共同調理場を統合するものであり、令和7年度から継続して、給食センター新築工事等を実施いたします。

次に、「栃木文化会館施設整備事業費」につきましては、栃木文化会館を中長期的に使用するために、必要となる施設改修及び設備更新を行うものであり、令和8年度は、文化会館大規模改修工事等を実施いたします。

#### 《 4 子育てに優しくいつまでも健康で生きがいのもてる栃木市 》

第4は、「子育てに優しくいつまでも健康で生きがいのもてる栃木市」であります。

「訪問介護事業所支援補助事業費」につきましては、令和6年度の介護報酬改定により報酬が減額となった訪問介護事業所を支援するものであり、安定的な訪問介護サービスの提供体制の確保を図ってまいります。

次に、「すくすく子育て応援事業費」につきましては、出生時におむつ及びおしりふき等を購入できるクーポン券を支給することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を行うとともに、子育て支援センターの利用を促進し、子育て世帯を支援してまいります。

次に、「5歳児健康診査事業費」につきましては、幼児期において言語の理解能力や社会性が高まり、発達障がい認知される時期である5歳児に対して、保育園・認定こども園への巡回型相談事業に加え、小児科医による診察、作業療法士による運動機能評価を行い、保護者がこどもの心と身体の成長を確認し安心して育児ができるよう支援してまいります。

次に、「子育て世帯訪問支援委託事業費」につきましては、家事、育児等に不安や負担を抱える子育て世帯を訪問し、家事・育児等の援助を行い家庭環境を整えることで、児童が健全な生活を送れるよう支援してまいります。

#### 《 5 地域資源を生かした賑わいと活力のある栃木市 》

第5は、「地域資源を生かした賑わいと活力のある栃木市」であります。

「新規就農支援事業費」につきましては、農業者が減少するなか、持続的な力強い農業基盤を築くため、就農相談を通じた農業への人材の呼び込みや、就農に向けた準備・計画策定の支援、就農後の定着に向けた資金の支援、経営発展に向けた設備導入の支援などを行ってまいります。

次に、「とちぎ秋まつり負担金」につきましては、山車所有町内を中心に組織したとちぎ秋まつり実行委員会が、市、栃木商工会議所、栃木市観光協会、栃木市商店会連合会及びとちぎの山車祭り伝承会との共催により、「とちぎ秋まつり」を隔年で開催するもので、本市最大の祭りとして、皆様に楽しんでいただけるよう準備を進め、盛大に開催いたします。

次に、「栃木インター西産業団地造成事業費」につきましては、データセンター立地に伴い、新たな産業拠点の整備を進め、本市経済の活性化や雇用の創出を図るものであり、令和8年度は、西地区の次期分譲に向けた造成工事を進めるとともに、北地区の産業団地造成に向けた業務委託及び用地買収等を実施いたします。

次に、「平川土地区画整理事業費」につきましては、主要地方道宇都宮亀和田栃木線沿いに位置する「平川地区」において、フードバレー構想の推進に向けた産業系の土地利用を図るため、土地区画整理事業を実施するものであり、令和8年度は、区画道路や調整池の整備工事及び建物の移転等を実施いたします。

## 《 6 参画と協働による持続可能な栃木市 》

第6は、「参画と協働による持続可能な栃木市」であります。

「ふるさと応援寄附事業費」につきましては、本市の貴重な財源として、ふるさと応援寄附の受入れを行い、応援いただいた寄附者に対し、市の特産品を返礼することにより、市の魅力をPRするとともに、地域経済の振興を図るものであります。

次に、「地域施設再編モデル総合支所複合化整備事業費（藤岡）」につきましては、藤岡地域の総合支所、公民館などの複数の公共施設を一つの建物に統合した複合施設を整備するものであり、令和8年度は、整備基本計画策定業務及び用地測量業務を実施いたします。

次に、「男女共同参画推進事業費」につきましては、男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指し、意識啓発や人材育成等の男女共同参画施策を総合的に推進するものであり、令和8年度は、家事シェア推進事業等を実施いたします。

次に、「若者・女性活躍推進事業費」につきましては、性別や世代に関わらず、誰もが働きやすく働きがいがある就労環境の構築を目指し、男女格差解消、両立支援等のワークイノベーションの取り組みを推進するものであり、令和8年度は、各種セミナー等の開催、市内企業・事業所における実態把握のためのヒアリング調査等を実施いたします。

## 【組織の見直し】

以上が主な事務事業の概要となりますが、引き続きまして、令和8年度に向けた組織見直しの概要について、ご説明いたします。

この度の見直しの目的は、新たな行政課題に対応するとともに、効率的に業務を遂行するため、課及び係の統廃合を進めるというものであります。

主な内容につきましては、公共施設の統廃合や有効活用に向けた施策を推進するため総合政策課に公共施設マネジメント係を新設するとともに、児童生徒数の減少に応じた小中学校の適正配置の取組を推進するため教育総務課に学校再編推進室を新設いたします。

また、移住定住の促進に向けた施策を推進するため、地域政策課に移住定住促進係を新設いたします。

その他、課及び係を統廃合することにより、令和8年度の消防本部を除く組織数を、本年度当初と比較し、1課減、1室2係増の8部7局61課3室187係とし、効率化を進めることでより円滑な行政運営を行ってまいります。

以上が、令和8年度の組織見直しの概要となります。

## 【むすびに】

結びになります。本市の財政状況は、市有施設の維持更新や社会保障関係経費、情報システム関係経費などのほか、物価高騰・原材料価格の高騰による物件費や人件費の上昇などの歳出予算の増加により、大変厳しい状況が続いておりますが、令和8年度は、人口減少や少子高齢化への対応をはじめ、子育て支援の充実や、教育環境の整備、公共施設の更新、さらには産業の発展と雇用の創出など、必要な行政サービスを的確に市民の皆様を提供するため、これまでの最大規模となる予算を編成いたしました。

また、平川地区の産業団地は、市フードバレー構想を推進するため、豊富な地下水を生かし、食料品系企業の誘致を推進するとともに、早期の分譲に向けて、造成工事を進めてまいります。栃木インター産業団地においても、西地区の第2期分譲に向けた手続きを進め、北地区についても早期の事業着手を目指して取り組んでまいります。

さらに、昨年のもちづくり懇談会等において「女性も活躍する地域について」と題し、市民の皆様や若者、経営者の方々と考える場を設け、活発な意見交換を行ってまいりましたが、女性が働きやすい職場環境を整えることにより、仕事と子育ての両立が可能となり、地域における女性の割合が増加するなど、人口減少等による地域課題の解消につなげるため、女性も活躍する地域づくりに取り組んでまいります。

令和8年度は、第2次総合計画の4年目に当たります。本市の将来像である「豊かな自然と共生し 優しさと強さが調和した 活力あふれる栃木市」の実現に向けて、子どもから大人まですべての世代が、幸せを実感できるまちづくりを進めるため、精一杯の努力をしてまいるとともに、市民の皆様、そして次代を担う若い世代が、それぞれの夢や希望を描き、実現できるまちとして、本市がさらなる発展を遂げていけるよう、職員一丸となって、市民の皆様一人ひ

とりが幸せを感じられる栃木市づくりを目指して、取り組んでまいります。

以上、申し上げました思いを込め、令和8年度予算を『夢や希望あふれる未来へつなぐ予算』と位置付けて市政運営を行ってまいりますので、何卒、市民の皆様と議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、施政方針といたします。